

成猫を迎えるには

《成猫の良いところ》

- 性質(性格)が定まっている
- 子猫ほど活発に動き回ることはない
- 落ち着いている猫がほとんど
- 体調が安定している

ケージを利用

猫を迎えたときに一番怖いのは、逃げること。信頼関係ができて逃げる必要がないと猫が確信するまで、フリーにするのは危険です。

ケージは猫との距離を上手に縮める道具と考えて、猫が慣れるまではケージにいる状態でコンタクトをとりましょう。

猫は高いところを好むので、ケージは上下運動ができる2段や3段のものを用意して、中にトイレや爪とぎ、ベッドなどを入れてあげましょう。



構いすぎない

最初の1週間くらいは、本当に必要最小限のお世話だけしてください。無理に距離を縮めようとする逆効果です。

猫を見つめることはせず、動きも小さくして「ごはんだよ」、「トイレ掃除するね」などと優しく声をかけながら最低限のお世話で済ませましょう。

人への興味が増えて来たら必ず自分から寄ってくるようになりますので、焦らず気長に、人の存在に慣れさせましょう。



コミュニケーションのこつ

慣れてきて猫が許してくれたら、頭やあごのあたりを触ってみます。このとき、いつまでもベタベタ触らないこと。

猫のボディランゲージをよく見て、怖がっていないか、いらだっていないか、常に確認しながら接するようにしてください。

人に近づくかどうかは猫に任せ、無理やり触ろうとしたり抱こうとしたりはダメです。

《コミュニケーションで心がけること》

- 甲高い声や大きな声を出さない
- ゆっくり動く
- じっと見つめすぎない
- 視線をできるだけ低くする



おスムーズに迎えるために

猫はにおいに敏感です。自分のにおいについている砂やベッド・毛布などをケージに入れておくと落ち着くことがあります。

また、猫は香りの強い柔軟剤や香水、芳香剤などを嫌がることが多いので、香りの強いものは控えましょう。

《特に猫が嫌う匂い》

- レモン
- ミント
- シトラス
- タバコ
- バニラ



成猫は新しい環境に慣れるまで時間がかかるケースも多いです。

成猫を迎える責任の重さを十分に理解し、最後まで飼い続ける覚悟をもってお迎えしてください。